



# けんこうな子

はまぼう学府ほけんだより

令和3年3月

No.2

## ❖ 第2回家庭保健委員への御協力ありがとうございました ❖

9月と1月に実施した家庭保健委員会ですが、今年度で6回目となりました。実施率は3校ともに9割を超えており、定着化されてきたように思います。

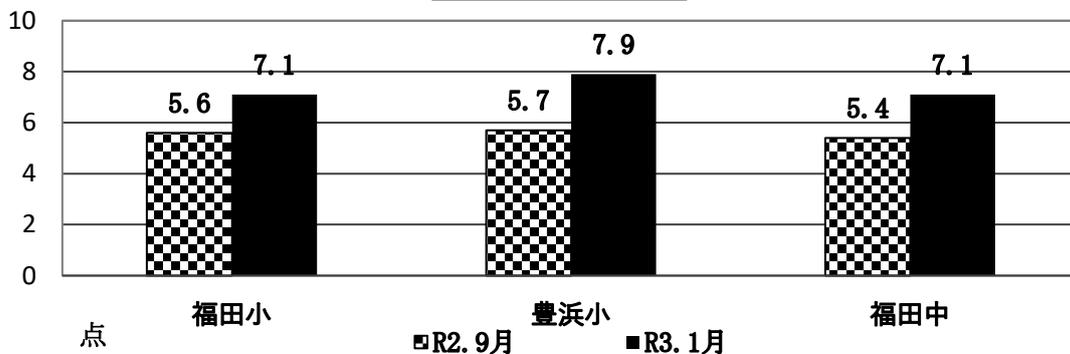
今年度は「家庭でのあいさつ」について目標を設定しました。以下の4つ項目から1つを選び、約4か月間、各家庭で取り組みをしていただきました。

- ① 家族のみんなにあいさつができる。
- ② 相手の目を見てあいさつができる。
- ③ ちょうどよい声の大きさで、はっきりあいさつができる
- ④ 時と場にあったあいさつができる。

4つの中で、選んだ人が最も多かったのは、3校ともに、「④時と場にあったあいさつができる。」でした。

続いて、達成度の変化について集計した結果が下のグラフです。3校ともに、達成度が上昇しており、家庭での取り組みの成果が表れた形となりました。御協力ありがとうございました。

### 達成度の変化



## 「あいさつ」は相手の存在を認める行為

あいさつは、コミュニケーションを円滑にするための最初の一步とされています。あいさつをすることで「あなたはここにいてもいいですよ」という相手に対する意思表示になります。もし、自分があいさつをしても、相手からは、あいさつをされなかったり、返してもらえなかったりすると、悲しくなりますね。「自分は存在しない」「自分には居場所がない」というような気持ちになってしまうかもしれません。あいさつは「相手の存在を認める行為」です。挨拶をすることによって、相手が自分の存在を認めてくれていると感じることができ、その相手とのコミュニケーションにつながっていきます。これからも家族のコミュニケーションを深めていきましょう。

